

畜産茨城

第481号

令和元年11月29日



目次

令和元年度牛乳消費拡大事業 ポスターコンクール表彰式開催される…	1	令和元年9月市況……………	6
県央管内におけるGAP取得 チャレンジシステムの取組み……	2	牛マルキン発動状況……………	6
茨城いきいきゆめ国体2019 馬術競技大会・馬術衛生本部の運営について…	3	令和元年10月市況……………	7
「常陸牛」繁殖雌牛増頭に関する取組み…	4	肉用子牛生産者補給金発動状況……………	7
		畜産センター内で採卵した 黒毛和種の受精卵販売について …	8

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人 茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／佐 野 治

令和元年度茨城県牛乳消費拡大事業 ポスターコンクール開催される



令和元年度茨城県牛乳消費拡大コンクールの表彰式を、11月1日(金)水戸駅ビル・エクセルで開催しました。

今回で41回目になる当ポスターコンクールには、県内の小学校・中学校から2,257点の応募があり、最優秀賞(茨城県知事賞)に輝いた日立市立十王中学校3年鈴木瑠華さん、そして優秀賞、佳作に入選された方々にオリジナル賞状が授与されました。

審査委員長の三好義章先生(ひたちなか市美術協会元会長)からは、「とても優れた作品が多く、選ぶのが大変であった。中でも子供らしい牧歌的な作品・力強い作品・丁寧に書かれた作品を選んだ」との講評を頂きました。



この賞状は特殊加工が施されていますので水に濡れても大丈夫です。自宅にポスターとして飾ってもデスクマットとして使用しても長期間色落ちしない素材です。
茨城県牛乳普及協会

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています

県央管内におけるGAP取得チャレンジシステムの取組み

茨城県県央農林事務所 農業振興課

○ GAP 取得チャレンジシステム（以下「チャレンジシステム」）とは

畜産 GAP 認証取得の準備段階の取組として、平成 29 年 8 月末から運用が開始されました。畜産 GAP の実施に必要な取組みについて、生産者がチェック項目に基づいて取組状況の自己点検を行い、その内容を公益社団法人中央畜産会が第三者として確認することで、同会のホームページに取組農場として公表される仕組みです。具体的には以下の表のとおりです。

	GAP取得チャレンジシステム	畜産GAP
費用	無料	①HACCP認証農場 80,000円(*1)+審査員の旅費 ②①以外 250,000円(*2)+審査員の旅費
有効期間	有効期限は1年間	認証期間は2年間 (中間で維持審査を実施)
マーク	取組をPRするマーク等はない	認証マークがある

*1.2: 農場の規模により金額が異なります。

県央管内では、令和元年 10 月現在、採卵鶏農家 1 戸、肉用鶏農家 1 戸が GAP 取得チャレンジシステムの取組み農場として認定されていますので、今回は、各農家における取組みについて紹介します。

○取組事例 1

【(有)ナリタファーム】

茨城町の(有)ナリタファームでは、約42万羽の採卵鶏を飼養し、様々なブランド卵を生産しています。

農場では平成 27 年に農場 HACCP を取得していましたが、バイヤーからのニーズや東京オリンピック・パラリンピックの農産物の調達基準であることを背景に、チャレンジシステムに取組むことにしました。

取組むにあたっては、担当者が現場の作業員に作業内容を確認し、不足しているマニュアルやチェックリストを作成するとともに、環境改善を図りました。

書類作成では、農場 HACCP の取組みの経験を活かし、複数人で記載内容を確認することで、誰にでもわかる表現を心掛けました。

この取組みにより、農場内では、以下のような効果が見られました。

- ・手順書やチェックリストの活用により、作業の統一が図られた。
- ・ひらがなの手順書を活用して外国人研修生にも指導しやすくなった。

- ・作業体系が文書化されることで、目標も明確になり、従業員のモチベーションもアップした。

取組み農場に登録されたことを契機に、今後も作業記録等を継続し、改善に向けてさらに取り組んでいきたいとのことでした。



○取組事例 2

【(株)つくば鶏 羽石農場】

城里町の(株)つくば鶏 羽石農場では、約 2 万 8 千羽の肉養鶏を飼養し、日本で唯一オーガニック JAS を取得した「つくばオーガニックチキン」を含む 3 つの銘柄鶏を生産しています。

東京オリンピック・パラリンピックでも、つくばオーガニックチキンを売り込めるよう、農産物の調達基準であるチャレンジシステムに取り組むこととしました。

取組みにあたっては、管理記録や使用記録を書類にまとめる作業が多くありましたが、有機 JAS の取組み時の書類を参考にして準備を進めました。

チャレンジシステムでは家畜衛生や労働安全も重視することから、取組を通じて農場内は一層清潔になり、整理整頓も徹底されるようになった効果がありました。

今後もこのレベルを維持し、畜産 GAP が取得できるレベルまで引き上げられるよう取り組みを強化していきたいとのことでした。



○おわりに

実際に取り組んだ農家の方々から話を伺う中で、書類作成は多い一方、東京オリ・パラの農産物の調達基準を満たすだけでなく、農場内においても作業の効率化や安全性の向上など経営の改善につながる様々な効果が出ていることが明らかとなりました。

茨城いきいきゆめ国体2019 馬術競技大会・馬事衛生本部の運営について

茨城県県北家畜保健衛生所

令和元年9月28日から10月8日まで、本県で天皇陛下御即位記念第74回国民体育大会が45年ぶりに開催されました。正式競技37競技、特別競技1競技、公開競技5競技、デモンストラシヨンスポーツ31競技に約23,000人の選手・監督を迎え、11日間の熱戦が繰り広げられました。

県立水戸農業高等学校特設馬術競技場（那珂市）では、9月29日から10月3日まで、馬術競技会が開催され、茨城県勢は、馬術成年男子国体総合馬術競技で初優勝する等、5種目で優勝を果たしました。

今回は、馬術競技ではなく、競技参加馬の入・退厩の様子に目を向け、馬事衛生本部の運営について紹介します。

馬事衛生本部の役割

本大会は、全国から176頭の馬の参加がありました。参加馬は、北は北海道、南は沖縄県から馬運車でやって来ます。馬術競技は、馬と選手が一体となって行う競技です。馬事衛生本部は、参加馬が競技までに旅の疲れを回復し、できるだけストレスの無い状態で競技に臨め、能力を最大限に発揮できるように、人、馬の安全な入・退厩、飼養衛生管理のフォローを行います。

馬事衛生本部の体制

馬事衛生本部は、馬事衛生班（総務係、入退厩確認係）、馬事受付班（消毒係、受付誘導係、手帳確認係、馬体照合係）、衛生検査班（防疫検査係、馬診療・装蹄係）、厩舎管理班（厩舎管理係）の4班9係で構成されています。国体局施設調整課、畜産課、畜産センター、県央農林事務所、家畜保健衛生所の職員が配置され、大会期間中延べ264名が従事しました。

馬事衛生本部の業務

第74回国民体育大会馬事衛生対策実施要領は、馬術競技出場馬の防疫、健康管理等、馬事衛生対策の実施に関する必要事項を定めています。

馬事衛生本部は、参加都道府県に対し、「予防接種確認票」、「馬の検査、注射、薬浴、投薬証明手帳」（以下、健康手帳）及び「日本馬術連盟乗馬登録証」（以下「登録証」）の提出を求め、日本脳炎、馬インフルエンザワクチンの接

種状況、馬登録証の確認を行います。

消毒係は、動力噴霧器で馬運車の消毒を行います。

馬体照合係は、馬登録証を見ながら馬体照合を行い、併せて健康観察を実施します。馬に異常が認められなければ、入厩完了です。

防疫検査係は、毎日、厩舎を巡回し、体温チェックを行い、馬の健康確認を行います。

また、大会期間中は、馬診療所に救護獣医師2名を常駐させ、夜間も診療体制を整えています。このように、何重もの健康チェックを行い、競技期間中の参加馬の健康維持に注意を払います。

厩舎管理班は、馬運車・厩舎間の馬具の運搬、衛生害虫の発生防止のため防虫作業等を行います。

水戸農業高等学校ボランティアの皆さんの協力

水戸農業高等学校の学生さんは、厩舎管理係補助員として、馬運車から厩舎への馬具の運搬、馬道、厩舎、診療所・装蹄所の清掃など、7日間にわたり延べ156名がボランティアとして活動してくれました。

水農生の皆さんの活動は素晴らしく、自主的に班を編成し、進んで作業を行ってくれました。とにかく明るく、元気よく、はつらつとして活動してくれました。大会期間中は、天気恵まれ、強い日差しを浴びながらの作業でしたが、疲れたと弱音をなく学生さんは誰一人いませんでした。無駄口をたたかず、黙々と取り組む姿勢は本当に頭が下がりました。水農生の皆さんは、馬事衛生本部の運営にかけがえのない大きな力となりました。



馬運車への馬具の積み込みの様子



馬運車への馬具の積み込みの様子

入・退厩の様子

入厩日は、9月26日～28日まで。全国から77台の馬運車で176頭が来場しました。

そして、退厩日は、9月29日～10月3日まで。最終日の10月3日は、61台の退厩があり、特に午後からは、1時間に12台から24台の退厩がありました。今大会は、仮設競技場での開催であり、馬運車エリアのスペースが狭く、大会前から、スムーズな退厩ができるか頭を悩ましていました。退厩調整会議を開催し、退厩希望車両が多い時間帯は、本県から遠い県を優先して退厩させることを了解していただきましたが、いざ退厩が始まると予定どおりにはいきませんでした。しかし、馬運車ドライバーの皆さ

んのご意見を参考に、一度に3台の馬運車を並列させて退厩を行う予定を7台に増やしたことで、概ね希望時間に退厩をしていただくことができました。



退厩の様子

終わりに

馬事衛生本部は、那珂市国体推進室と大会前だけでなく大会期間中も何度も打ち合わせを行いながらスムーズな入・退厩に努めました。10月3日の最終退厩日には、参加馬176頭が元気に退厩し、大きなトラブルも無く、無事業務を終了しました。

そして、水農生ボランティアの献身的な活動は、馬事衛生本部にとって大きな力となりました。

「常陸牛」繁殖雌牛増頭に関する取組み

茨城県畜産農業協同組合連合会

本県の銘柄牛である「常陸牛」は、年間出荷8,815頭と全国トップクラスの取扱頭数を誇っております。しかし、近年は繁殖農家の高齢化等により子牛価格の高騰が続いており、常陸牛指定生産者は素牛導入に苦慮する状況が続いております。反面、意欲ある繁殖農家が飼養頭数を拡大したり、肥育農家が繁殖事業にもチャレンジする等の動きも出ており、本会においても繁殖雌牛増頭に向けて次の取組みを進めております。

1. 周年放牧・自然分娩

古平牧場（水戸市元吉田町）では、平成27年から周年放牧による繁殖事業を行っております。あえて牛舎を持たず、季節に関係なく放牧地だけで牛を飼養する方法で、出産も（放牧地で人の手を借りることなく）自然分娩で産ませております。母牛は、放牧による丈夫な足腰と



ストレスのない健康的な環境によって（他牧場での繁殖障害牛でも、古平牧場で飼養することにより）ほぼ全頭が受胎し分娩しております。また（分娩牛舎でなく）放牧地（土の上）で分娩することで、丈夫な子牛が生まれており、その後の事故もほとんどありません。



2. 初乳製剤等

疾病対策で細心の注意が必要な時期は、出生後から約3か月間の哺育期です。この時期に病気になるにくい健康な子牛となるよう、本会では①初乳製剤「親はなくとも仔は育つ」と②乳清分離液「イービーフOL」の給与を行っております。①「親はなくとも…」は兵庫県の牧場が開発した初乳製剤であり、ダマができず溶けやすい上、出生後すぐの子牛も良く飲みます。②「イービーフ」はより研究が進んでいるアメリカで開発され非常に効果の高かった製剤で、子牛の免疫力を向上させ肺炎や下痢等の予防に効果があり、子牛の鼻先口元にワンプッシュ吹き付けるだけと給与作業も簡単です。

3. 山間地放牧



米平牧場（高萩市中戸川）では、平成29年度に茨城県の公共牧場活用生産基盤強化支援事業により放牧地を再整備し、平成30年から繁殖雌牛（妊娠牛）の放牧利用を開始しました。繁殖雌牛は自然の草だけでも飼養が可能であり、放牧に出すことで牛舎が空き（施設の増築がなくても）増頭を進めることも可能となります。現在は、生産者から約40頭の妊娠牛を預り放牧しておりますが、利用面積を年々拡大し県内生産者が広く利用できるようにしたいと考えております。



4. 産子返納貸付牛制度

本会では、平成28年より「産子返納貸付牛制度」による預託家畜事業の取組みを開始しております。これは、母牛を借りて生まれた子牛を返すという制度です。お金で返済するのでなく生れた子牛（原則、最初に生まれた雄子牛）を1頭返納します。金利負担や不受胎牛の心配がなく（仮に繁殖障害等の場合には本牛を返すことで債務解消）、増頭希望者や新規参入者等を対象に利用拡大を図っております。

5. 今後の取組み

本会では、繁殖雌牛の飼養頭数拡大を目指しており、県の増頭対策と協力しながら、各生産者がお金と手間をかけない方法で繁殖雌牛を増頭できるよう努めてまいります。将来的には、①繁殖牛を受託し種付を行うCBS（キャトル・ブリーディング・ステーション）、②妊娠牛を預かる周年放牧（米平牧場他）、③子牛を管理育成するCS（キャトルセンター）という体系で分業化が進められれば県内の増頭も大きく進むものと考えております。また、茨城県産の肥育素牛が増えることにより「茨城生まれ・茨城育ち」更には「茨城の種雄牛」も絡めた生粋の常陸牛といった差別化や、美味しさの数値化（オレイン酸の測定開示）等も加えて、他銘柄とは異なるブランド化が進めば良いとも考えております。

今後も、県や関係団体及び各生産者と一致協力しながら「オール茨城」での常陸牛生産体制に向け努力してまいります。

※本稿に記載した商品や貸付牛制度等に関する問い合わせは、

茨城県畜連（TEL 029-221-5397）

に、ご連絡下さい。

令和元年9月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
4	一般子豚	0				50
	ベビー豚	265	22,896	15,444	20,981	35
18	一般子豚	11	18,360	18,360	18,360	50
	ベビー豚	310	17,820	6,696	15,606	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	65	966,600	482,760	657,786	293	2,248
		♂	106	1,053,000	555,120	732,566	318	2,304
		去計	171	1,053,000	482,760	704,141	308	2,284
	F1	経産	6	343,440	151,200	254,160	—	—
		♀	0					
		去計	0					

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
14	入場頭数	10	0	1	0	1	11	9	0
	成立頭数	10		1		1	10	9	
	最高(円)	84,240		85,320		105,840	142,560	77,760	
	最低(円)	65,880		85,320		105,840	60,480	65,880	
	平均(円)	76,464		85,320		105,840	106,380	73,200	

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	31	1,040,040	325,080	658,138	261	2,514
		♂	0					
		去計	38	973,080	606,960	756,767	302	2,504
			69	1,040,040	325,080	712,455	284	2,508

食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日		豚枝肉；日曜、祭日を除く毎日					牛枝肉；毎週月曜日、木曜日				
畜種	項目	上場頭数		卸売価格（枝肉1kg当たり単価・円）					屠畜頭数		
	頭数	平均重量（kg）	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛	
	豚	11,394.0	76.5	565	543	516	475	392	501	23,758	766.0
	牛	頭数	平均重量（kg）	5	4	3	2	1	平均単価（円）		
和牛	A	179	198	472.8	2,679	2,367	2,068	1,484	—	2,404	
	B	13			2,388	2,072	1,811	820	887		
	C	6			—	—	—	1,620	815		
乳牛	A	—	170	299.0	—	—	—	—	—	708	
	B	7			—	—	—	753	864		
	C	163			—	—	—	739	683		
交雑牛	A	23	98	503.7	1,900	1,833	1,629	1,459	—	1,611	
	B	60			1,946	1,671	1,627	1,435	—		
	C	15			—	1,418	1,504	1,370	692		

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	頭数	5, 9, 15, 19, 25, 29				平均(円)
					最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均(円)	
乳牛	スモール	♀	去計	6	183,600	10,800	88,920	88,920	
				145	139,320	3,240	91,867	91,867	
				0					
	子牛	♀	去計	151	183,600	3,240	91,750	91,750	
				2	189,000	183,600	186,300	186,300	
F1	スモール	♀	去計	0					
				0					
				2	189,000	183,600	186,300	186,300	
	子牛	♀	去計	64	276,480	115,560	217,131	217,131	
				89	380,160	23,760	279,951	279,951	
黒毛和種	スモール	♀	去計	0					
				153	380,160	23,760	253,673	253,673	
				2	250,560	226,800	238,680	238,680	
	子牛	♀	去計	0					
				2	250,560	226,800	238,680	238,680	
黒毛和種	スモール	♀	去計	1	452,520	452,520	452,520	452,520	
				0					
				0					
	子牛	♀	去計	1	452,520	452,520	452,520	452,520	
				2	540,000	486,000	513,000	513,000	
黒毛和種	子牛	♂	去計	3	595,080	464,400	518,760	518,760	
				0					
				5	595,080	464,400	516,456	516,456	
	3歳以上	♀	去計	3	357,480	187,920	255,240	255,240	
				0					
				3	357,480	187,920	255,240	255,240	

牛マルキン発動状況

販売月	支払区分	肉専用種	交雑種	乳用種
令和元年9月	確定単価	18,648.0円	—	28,826.1円
令和元年8月	確定単価	49,671.0円	—	26,905.5円
	概算払単価	45,671.0円	—	22,905.5円
令和元年7月	確定単価	—	—	35,702.1円
	概算払単価	—	—	31,702.1円

(注)

四半期の最終月以外については、交付金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをしています。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、消費税抜きで算定されています。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

令和元年10月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
2	一般子豚	30	27,500	18,700	21,439	50
	ベビー豚	206	18,700	15,730	17,386	35
16	一般子豚	9	15,510	15,510	15,510	50
	ベビー豚	214	14,520	13,310	13,820	35
30	一般子豚	0				50
	ベビー豚	207	20,900	16,390	19,377	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	79	842,600	543,400	702,635	304	2,308
		♂	0					
		計	110	1,007,600	660,000	818,370	337	2,430
	F1	♀	189	1,007,600	543,400	769,994	323	2,382
		♂	14	1,043,900	214,500	557,464	—	—
		計	0					

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
	入場頭数	開催なし							
	成立頭数								
	最高(円)								
	最低(円)								
	平均(円)								

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀	開催なし					
		♂						

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日								牛枝肉：毎週月曜日、木曜日			
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)								屠畜頭数	
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛	豚	牛
豚	13,251.0	77.8	537	493	464	427	359	452	27,977	778.5		
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)				
和牛	A 187	208	472.6	2,694	2,368	2,132	1,116	—	2,378			
	B 13			2,370	—	2,157	1,014	617				
	C 8			—	—	—	897	642				
乳牛	A —	226	289.5	—	—	—	—	—	628			
	B 13			—	—	—	759	694				
	C 213			—	—	635	704	577				
交雑牛	A 28	114	500.9	2,000	1,787	1,670	1,392	—	1,567			
	B 69			1,513	1,748	1,570	1,284	—				
	C 17			—	1,745	1,397	1,150	510				

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 19, 25, 29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	4	165,000	31,900	126,225
		♂	160	149,600	2,200	102,417
		去計	1	66,000	66,000	66,000
	子牛	♀	165	165,000	2,200	102,773
		♂	2	198,000	176,000	187,000
		去計	0			
F1	スモール	♀	55	261,800	86,900	196,740
		♂	98	349,800	162,800	263,428
		去計	0			
	子牛	♀	153	349,800	86,900	239,455
		♂	3	273,900	233,200	256,667
		去計	0			
	3歳以上	♀	0			
		♂	3	273,900	233,200	256,667
		去計	1	196,900	196,900	196,900
		計	0			
黒毛和種	スモール	♀	0			
		♂	1	467,500	467,500	467,500
		去計	0			
	子牛	♀	1	467,500	467,500	467,500
		♂	2	497,200	423,500	460,350
		去計	2	738,100	506,000	622,050
		♀	2	497,200	110,000	303,600
		♂	6	738,100	110,000	462,000
		去計	2			
		計	6			

肉用子牛生産者補給金発動状況

令和元年度第2四半期(2019年7～9月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円／頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	531,000	489,000	314,000	161,000	269,000
合理化目標価格	421,000	388,000	249,000	108,000	212,000
平均売買価格	764,300	606,300	257,400	228,100	420,000
補給金単価	—	—	56,600	—	—

畜産センター内で採卵した黒毛和種の受精卵販売について

茨城県畜産センター

茨城県畜産センターでは、受精卵を活用した和牛子牛の生産を推進するため、センター内で飼養している雌牛から受精卵を採取し、県内農家等に販売しています。

受精卵購入の流れ

センターHPやFacebook等で販売開始のお知らせ

FAXまたは郵送で応募

振込用紙で入金

受精卵の受け取り



11月上旬に本年度2回目の販売を予定しています。



応募者多数の場合は、抽選販売となります。



購入にあたっては、下記①～③の守っていただく事項がありますので、ご理解の上ご応募ください。

- ① 受け取ってから6ヶ月以内に、県内で飼養している牛に移植すること。
- ② 生まれた産子は以下のいずれかで譲渡又は飼養すること。
 - ・ 生まれた産子を出荷する場合、県内の家畜市場に出荷すること。
 - ・ 生まれた産子を農家間で譲渡する場合、県内の農家に限ること。
 - ・ 自家農場で飼養すること。
- ③ 受精卵の移植状況や受胎状況など産子に関して年1回報告すること。

受精卵販売の詳細につきましては、販売開始前に畜産センターホームページやFacebook等でお知らせいたします。

受精卵販売に関するお問い合わせ先
茨城県畜産センター（受精卵供給センター）

TEL (0299) 43-3333 FAX (0299) 43-6392



茨城県銘産物

奥久慈

しゃも

奥久慈しゃも生産組合

〒319-3523 茨城県久慈郡大子町袋田3723
TEL / 0295-72-4250
FAX / 0295-72-2944

いばらき地鶏

わたしたちは人と動物の「これから」を真剣に考えています

森久保薬品株式会社 茨城事業部

下妻市亀崎4011-1 TEL/0296-43-1661
FAX/0296-43-6509 フリーアクセスFAX/0120-436-509

<http://www.morikubo.co.jp> <http://www.haccp.jp>



県内唯一の食肉地方卸売市場

株式会社 茨城県中央食肉公社

代表取締役社長 小野 寺 俊

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975
TEL / 029 (292) 6811 (代)
FAX / 029 (292) 6895
HP / <http://ibaraki-kousha.co.jp/>

市場開催日 { 豚枝肉 (日曜・祭日等を除く毎日)
牛枝肉 (毎週月・木曜日)

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL / 029 (231) 7501 FAX / 029 (222) 2032

- 当協会に対する意見・要望
Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp
- 本紙への掲載「催事・各種情報」
Eメール chikusan@ibachiku.com
- ホームページ
<http://ibaraki.lin.gr.jp>